

貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

株式会社 ダイフクデザインアンドエンジニアリング

資 産	金 額	負 債 及 び 純 資 産	金 額
	円		円
(資 産 の 部)	(248,412,154)	(負 債 の 部)	(48,508,046)
流動資産	227,937,505	流動負債	43,347,806
現金及び預金	666,480	買掛金	12,366,519
売掛金	105,964,764	リース債務	1,720,080
仕掛品	10,958,595	未払金	803,622
前払費用	8,822,971	未払費用	28,328,066
繰延税金資産	9,882	未払消費税等	107,599
未収入金	14,219,683	預り金	21,920
短期貸付金	88,481,130	固定負債	5,160,240
貸倒引当金	△ 1,186,000	リース債務	5,160,240
固定資産	20,474,649	(純 資 産 の 部)	(199,904,108)
有形固定資産	7,572,787	株主資本	199,904,108
工具器具備品	692,467	資本金	30,000,000
リース資産	6,880,320	利益剰余金	169,904,108
無形固定資産	12,607,862	利益準備金	7,500,000
ソフトウェア	12,607,862	その他利益剰余金	162,404,108
投資等	294,000	繰越利益剰余金	162,404,108
関係会社株式	294,000		
合 計	248,412,154	合 計	248,412,154

個別注記表

株式会社 ダイフクデザインアンドエンジニアリング

1. 重要な会計方針に係わる事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定)

時価のないもの

移動平均法による原価法

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益の低下による簿価切下げの方法により算定)

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く) 定率法

但し、平成10年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法

② 無形固定資産(リース資産を除く) 社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

貸倒引当金は債権の貸倒れによる損失に備えるため法人税法に定める限度額のほか、債権の回収可能性を検討して見積計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

消費税等の会計処理の方法

税抜方式によっております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度の末日における発行済株式の数

600 株

3. その他の注記

該当事項はありません。